

ソーラーモグラをお買い上げいただきありがとうございます。本器は、下記説明書を十分にお読みいただいた上でご使用下さい。

本機は、地面に埋め込んだパイプに音波を共鳴させて動作します。約30秒おきに1秒間隔で、地中表層部で音波（低周波400Hz）を発生させます。

人間などの天敵が地表から接近する際の地面の振動音を擬似することにより、モグラや野ネズミが音波の届く範囲内の地中に侵入することを防ぎます。

音波の届く範囲は、本機の周辺 約650㎡（200坪以下）です。

音波の届く範囲内に障害物（池・盛土・建物の基礎）等がある場合は、範囲が著しく狭まることがあります。効果的な方法としましては、モグラなどが頻繁に現われる場所に対角線上に離して本機を2台以上設置する事をお勧めします。

（ご使用上のご注意）

● 本器は、装着したソーラーパネル発電により内蔵の充電式バッテリーに充電しながらバッテリーの電源で稼働します。従って、日中太陽があたる場所に設置下さい。一日中日照が無い場所に設置した場合、バッテリーがあがり稼働が止まります。

● 本器は、再充電可能なNi-Cdバッテリー 1.2V /700mA x 2を装備しています。ご使用になる前に、必ず直射日光にあてて最低12時間の初期充電をして下さい。ご使用前に太陽光で充電する際には、ソーラーパネルのついた頭の部分の下から出ているバッテリーコードをアルミパイプの中のソケットに接続しない状態で、頭の部分のソーラーパネルを上にして直射日光にあてて下さい。

頭の部分の下から出ているバッテリーコードをアルミパイプの中のソケットに接続すると放電（稼働）を開始しますので、初期充電のときには放電を止めた状態でバッテリーの充電をする必要があります。



- 洪水や地面の凍結の際には、本器を取り外し下さい。
- バッテリーの寿命は約1年です。詳細は、バッテリー交換の項をご参照下さい。

（組み立て手順）

梱包には下記が含まれています。ご確認ください。

- ・ ソーラーパネルつきコントロールユニット（バッテリー装着）x 1
- ・ 音波発信機内蔵のアルミパイプ x 1

- 1) ソーラーパネルのついた頭の部分の下から出ているバッテリーコードのプラグを、アルミパイプ中の上についたソケットにしっかり差し込んで下さい。使用前の初期充電は、このソケットにバッテリーコードプラグをつけない状態で行います。
- 2) アルミパイプの上部側面の2つの突起を押した状態でソーラーパネルのついた頭の部分のベースに差込みベース両サイド2つの穴から突起が出るようにはめ込んでください。



- 3) 太陽光のよくあたる場所に25cm程度の穴を掘り本器を埋め込んで設置して下さい。埋め込むときにソーラーパネルの上からハンマーなどで打ちこむようなことはしないで下さい。パネルが破損します。



地面に挿入する



【本機の性能】

本機は、ソーラーパネルの発電により内部バッテリーに電力を充電します。

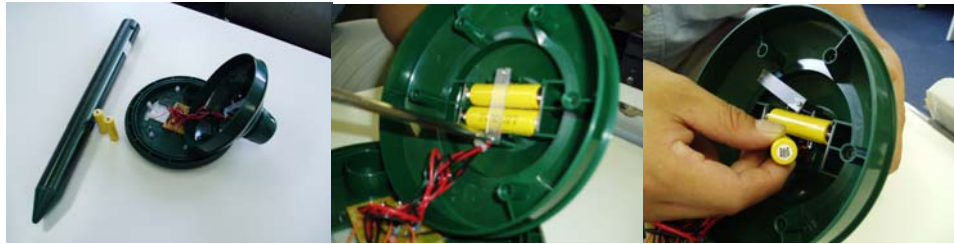
昼間はもとより夜間もバッテリーに蓄電した電力で動作します。

一日の稼働時間は、ソーラーパネルによる充電時間により、制限される事が有ります。ソーラー発電駆動につき、地理的条件・気象状況・季節的な条件等で、稼働時間が左右されます。

満充電時のバッテリー（12時間直射日光で充電された場合）は、日射がほとんどない状態でも約100時間は連続稼働します。又、バッテリー容量が20%程度になってもまだ24時間の稼働が可能です。

【バッテリーの交換】

一般市販の充電式単三型Ni-Cd バッテリーあるいはNIMHニッケル水素バッテリー（1.2V/容量700mA以上 x 2個）をホームセンターやカメラ屋にてご購入いただくか、弊社或いは本器販売店にご相談下さい。交換は以下の手順で行って下さい。



- 1) ソーラーパネルのついた部分の裏側の6つのネジを外し、裏側部分をあけて下さい。
- 2) バッテリーは、中で固定されていますので、固定ネジを外してバッテリーを取り出して下さい。バッテリーへは、内部に装着されたプリント基板からのコードが接続されていますので、そのコードも外してください。
- 3) 新しいバッテリーの装着は、上記の逆の手順で行って下さい。

仕様	
バッテリー定格電圧	1.2V x 2
バッテリー定格容量	700mAh
無日照稼働時間※	約100時間
音波周波数	400Hz
音波有効範囲	約650m2
防水性	防水仕様
サイズ	上部直径 約17.5cm パイプ長約38cm
重量	540g

※ バッテリーが満充電の状態から充電なしで稼働可能な時間。